

減りゆく茅ヶ崎の海浜性植物

岸 一弘*

1 はじめに

茅ヶ崎の海浜地域は、開発の進行、相模川から供給される砂の減少、オーバーユース、相模川中流域から運ばれる砂などにより、海浜性植物の生育に適さない場所が増え続けている。

コウボウムギ、コウボウシバ、ハマヒルガオなどのように、現在でも広範囲に生育する種類もあるが、在来個体群が危機に瀕している植物も少なくない。また、近年になって海岸域に植栽されている種類も増えている。

今後、海浜性植物を保全し、自然環境を適正に評価するためにも、局所的にしか見られないオニシバ、減少著しいイヌハギ、ハマエンドウ、ハマゴウなどについて、現存する生育地を記録し、現在見られる株が在来のものか、植栽されたものかを可能な限り明らかにしておきたい。

なお、海沿い以外にも広く分布するハマヒルガオについても併せて記録しておきたい。

文末となったが、茅ヶ崎市における海浜性植物の記録についてご教示いただいた三輪徳子氏(以下、三輪氏)、ハマゴウについてご教示いただいた藤間克子氏に感謝申し上げる。

2 減少著しい海浜性植物

1. ビロードテンツキ *Fimbristylis sericea* (Poir.) R.Br.

現在汐見台小学校となっている自生地は、開発により消失したが、三輪氏のご教示によれば2013年に汐見台の砂浜で採集された本種の標本が茅ヶ崎市文化資料館(以下、資料館)に保管されているとのことなので、当地には現存するものと思われる。平塚市博物館(2001)にも、1999年に汐見台で採集された標本が記録されている。勝山ほか(2006)によれば、県の絶滅危惧IB類に位置付けられている。

汐見台の海浜自然生態園には、植栽された株が見られる。

2. オニシバ *Zoysia macrostachya* Franch. & Sav.

[記録]

開花確認、茅ヶ崎市白浜町・茅ヶ崎ゴルフ場, 28.VIII.2016; 確認, 同地, 15.IV.2017; 確認, 同地, 23.VIII.2017; 確認, 東海岸南一丁目, 30.IX.2017; 開花確認, 東海岸南四丁目・茅ヶ崎海岸, 7.X.2017(図1)。



図1.開花したオニシバ。

三輪氏のご教示によれば、2016年に汐見台の砂浜で採集された標本が資料館に保管されているとのことである。これらの情報から、現存する市内の自生地は4か所と考えられるが、群落の規模はいずれも大きくない。茅ヶ崎ゴルフ場は近い将来事業者が変更となり、整備が行われる予定であるが、整備に際して本種の生育地が適正に保全されることが望まれる。他の自生地も環境の変化を受けやすいため、安泰とは言い難い。

勝山ほか(2006)によれば、県の絶滅危惧II類に位置付けられている。

3. イヌハギ *Lespedeza tomentosa* (Thunb.) Siebold ex Maxim.

[記録]

確認、茅ヶ崎市汐見台, 18.X.2004; 確認, 緑が浜, 18.X.2014(図2); 1株確認, 南湖七丁目・太陽の郷, 7.XI.2014.

現在汐見台小学校となっている自生地は開発により消失した。太陽の郷で確認した1株は開発で消失することが確実であったため、2014年に敷地内東側

に移植したが、残念ながら活着しなかった。

三輪氏のご教示によれば、2013年にひばりが丘の住宅地の空き地で採集された標本が資料館に保管されているとのことである。平塚市博物館(2001)には、1996年、1997年にひばりが丘で採集された標本、1999年に汐見台で採集された標本が記録されている。

ひばりが丘の現状は不明であるが、少なくとも2か所は現存していると判断される。勝山ほか(2006)によれば、県の絶滅危惧IB類に位置付けられている。

汐見台の海浜自然生態園には、植栽された株が見られる。



図2.若い実を付けたイヌハギ.

4. ハマエンドウ *Lathyrus japonicus* Willd.

[記録]

確認(開花), 茅ヶ崎市中海岸三丁目・市営球場, 8.VI.2013 ; 確認, 同地, 21.XII.2016 ; 確認, 中海岸三丁目, 10.VI.2015 ; 確認, 同地, 21.XII.2016 ; 小群



図3.花時のハマエンドウ.

落確認, 茅ヶ崎市柳島・湘南道路の碑, 11.III.2015 ; 多数確認(咲き始め), 柳島・遊歩道沿い, 2.IV.2014 ; 多数開花確認, 同地, 1.V.2016(図3).

柳島には数か所に自生し、遊歩道沿いにはまとまった株が生育している。市営球場西側のコンクリート道路沿いの土手に生育していた株は、土手の改修工事で消失した。市営球場南側にも自生地があるが、過管理の状態で生育条件は良くない。鉄砲道沿いの小公園(南湖四丁目)にある株は、地元の方が海岸沿いに自生していたものを移植されたとのことである。

汐見台の海浜自然生態園には、植栽された株が見られる。

5. ハマゴウ *Vitex rotundifolia* L.f.

[記録]

確認(咲き始め), 茅ヶ崎市南湖四丁目, 2.VII.2019 (図4).



図4.南湖四丁目鈴木家のハマゴウ.

かつてはそれほど珍しい植物ではなかったが、東海岸南三丁目・中海岸四丁目の生育地は開発により1990年代に消失した。自生地の可能性が高いのは、南湖四丁目鈴木家敷地内にある株である。中海岸三丁目の茅ヶ崎公園に見られる株も、砂地の崖に生育していることから、自生の可能性がある。

中海岸二丁目の資料館にある株は、1990年代に行われた海岸砂防柵の付け替え工事の際に、海岸から避難させ、移植したものである。鉄砲道沿いの小公園(南湖四丁目)にある株は、ハマエンドウと同様に地元の方が海岸沿いに自生していたものを移植されたとのことである。柳島二丁目の旧藤間家敷地

内にある株は、藤間克子氏のご教示ではかつて砂浜にあったものを移植されたとのことである。

東海岸南三丁目、中海岸四丁目地下道、海岸遊歩道南側(南湖六丁目)に見られる株は、近年になって植栽されたもので、もともとの生育地は不明である。

6. ハマニガナ *Ixeris repens* (L.) A.Gray

[記録]

開花確認, 茅ヶ崎市汐見台, 11.VI.2016(図 5); 確認, 同地, 5.V.2016 ; 2 株確認, 茅ヶ崎市白浜町, 12.IV.2013 ; 多数確認, 東海岸南四丁目・茅ヶ崎海岸, 7.X.2017 ; 確認, 中海岸三丁目, 7.X.2017.

市内では、東部の海岸で局所的に見られるだけである。勝山ほか(2006)によれば、県の絶滅危惧Ⅱ類に位置付けられている。



図 5.開花したハマニガナ.

7. ハマボウフウ *Glehnia littoralis* F.Schmidt ex Miq.

[記録]

開花確認, 茅ヶ崎市東海岸南四丁目, 27.V.2013(図 6); 多数確認, 柳島キャンプ場, 4.VI.2011 ; 多数確認, 同地, 9.IV.2014 ; 12 株確認, 柳島(しおさいの森),



図 6.住宅敷地に生育するハマボウフウ.

4.IV.2013.

確実に自生と判断できるのは東海岸南四丁目の住宅敷地に見られるものだけであるが、柳島キャンプ場、しおさいの森に見られるものも自生の可能性がある。

海岸遊歩道周辺、南湖五丁目・住吉神社に見られるものは、明らかに植栽されたものである。

3 分布域の広いハマヒルガオ

ハマヒルガオ *Calystegia soldanella* (L.) R.Br. は海浜性植物としては最も分布域の広い種類で、海沿いだけでなく、砂丘地各所で記録されている。海沿い以外の生育地について記録しておきたい。

[記録]

確認, 茅ヶ崎市富士見町・鉄砲道, 13.XII.2016 ; 確認, 高田二丁目・赤羽根川沿い, 9.VII.2001 ; 確認, 高田二丁目, 27.X.2014 ; 多数確認, 高田四丁目, 28.XII.2019 ; 確認, 本村二丁目・異人館踏切, 28.VIII.2014 ; 確認, 同地, 10.V.2017 ; 群落確認, 本村四丁目・相模線線路内, 14.VI.2012 ; 確認, 東海岸北一丁目・高砂緑地, 29.VIII.2006 ; 確認, 東海岸南四丁目・第一中学校, 17.X.2013 ; 確認, 同地, 15.X.2015 ; 確認, 同地, 15.XII.2016 ; 小群落確認, 東海岸南六丁目, 22.V.2012 ; 確認, 中海岸二丁目, 29.VII.2015 ; 確認, 中海岸二丁目・文化資料館, 21.XII.2016 ; 確認, 中海岸三丁目, 10.VI.2015 ; 確認, 中海岸四丁目, 7.VII.2014 ; 確認, 同地, 11.IX.2017 ; 小群落確認, 茅ヶ崎一丁目・国道一号脇, 5.VII.2012 ; 確認, 十間坂一丁目・十間坂踏切, 2.I.2007 ; 確認, 十間坂二丁目・最乗寺踏切, 11.X.2014 ; 確認, 同地, 26.X.2014 ; 確認, 共恵一丁目, 10.IV.2011 ; 多数確認, 同地, 14.VI.2014(図 7) ; 確認, 同地, 5.VII.2014 ; 確認, 南湖二丁目・踏切, 7.XI.2018 ; 小群落確認, 香川一丁目・市営住宅, 24.V.2003 ; 確認, 下町屋一丁目, 18.V.2013 ; 確認, 同地, 15.VIII.2016 ; 確認, 下町屋一丁目・旧相模川橋脚, 22.XI.2016 ; 確認, 今宿大田島, 17.VII.2001 ; 確認(開花), 柳島向河原, 15.V.2013 ; 芽立ち確認, 柳島, 13.III.2015 ; 開花確認, 柳島, 23.VI.2016.

砂丘地の各所に分布し、最も内陸側の生育地は香

川一丁目である。本種の生育は、同地が古い砂丘地上にある(茅ヶ崎市,1994)ことを示す一例と言えよう。環境変化には比較的強い種類で、線路、水路、国道沿いなどにも生育するが、中海岸四丁目の生育地は、2018 年に開発に伴う土地変化により消失した。



図 7.JR 東海道線沿いに生育するハマヒルガオ.

参考文献

- 茅ヶ崎市, 1994. 地図集大地が語る歴史 茅ヶ崎市史現代 7. 224pp. 茅ヶ崎市.
- 平塚市博物館, 2001. 湘南植物誌 VI. 平塚市博物館資料 50:194pp. 平塚市博物館.
- 神奈川県植物誌調査会編, 2001. 神奈川県植物誌, 1584 pp. 神奈川県立生命の星・地球博物館, 小田原.
- 勝山輝男・田中徳久・木場英久・神奈川県植物誌調査会, 2006. 維管束植物. 神奈川県レッドデータ生物調査報告書 2006, pp.37-130. 神奈川県立生命の星地球博物館, 小田原.

*景観みどり課